

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和3年11月25日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 12月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

地域の皆様に感謝

副校長 川村 良児

11月6日(土)に本校において地域防災拠点訓練が行われました。昨年度は感染症予防のため中止となりましたが、今年度は人数制限をしたうえで開催されました。本校の職員も6名が参加し有事への備えや実際に発災したときの区役所、消防、警察等とも連携した活動の流れ等を学ばせていただきました。また、危機状況になったときの学校の立場と地域の方々と連携し訓練を繰り返し行うことの大切さ等を改めて痛感しました。本校の防災拠点運営委員会は11月に行われる訓練だけではなく、2ヶ月に一度のペースで会を開き、機器や物資の点検や庶務、機材、食料、情報、救護、民生等の各班の活動内容についても確認を行っています。毎回参加をさせていただいておりますが、地域の皆様の危機管理意識の高さに感服するとともに、児童が在籍しているときの対応にも参考にさせていただいております。

さて、話は変わりますが、同時期に今井地区センターのサークル発表会において新桜ヶ丘地区連合自治会の作品展示が行われ、その中に本校の卒業生が総合的な学習の時間で取り組んだ折り紙の作品を展示していただきました。この内容はタウンページ保土ヶ谷区版にも掲載していただいております。コロナ禍で地域の方々との交流が難しくなりましたが、このような形で地域と学校をつないでいただきましたこと、大変ありがたく思っています。

また、地域の皆様には、地域学校協働活動事業本部「ふじっ子ホットプラス」の3名の学校地域コーディネーターさんを通して生活科や総合的な学習の時間を中心にたくさんのご支援をいただいております。

「稲ボランティア」の皆様には、5月から、田起こし、6月の田植え、10月の稲刈り、11月の脱穀と年間を通して5年生の学習に大きくかかわっていただいております。12月には稲の藁を使ってのリースやお正月飾り作りに取り組みます。

「図書ボランティア」の皆様には毎月の読み聞かせや図書室の環境整備をしていただいております。読み聞かせは、感染症予防対策としてテレビ放送で行っていましたが、10月からは各クラスで行っていただく従来の形に戻すことができました。

家庭科の学習においも、調理実習がようやく実施できるようになり、5、6年生にご支援をいただいております。感染症の影響で昨年度は調理実習ができなかったため、今年度は6年生も初めての体験となります。各班に1名ついていただくことで、安心・安全な学習につながっています。

「花ボランティア」の皆様には毎月第2火曜日にご来校いただき、正門周辺の花壇やプランターに植えた花の管理をしていただいております。また、毎年、6月と12月に「花植エツアー」と称して、エコロジー委員会の児童を中心とした子どもたちと一緒に花苗の植え替えを行っています。こちらも感染症予防で活動を見合わせていましたが、12月14日に再開する予定です。

そして、「朝ボランティア」の皆様には、年間を通して毎日登下校中の子どもたちを見守っていただいております。暑い日も寒い日も、荒天の日も変わらぬご支援には本当に感謝しかありません。このたび、長年にわたり交通安全と交通事故防止に貢献してきた功績が顕著な団体として「横浜市交通安全功労者表彰式」において横浜市交通安全協会より表彰を受けました。

「よつ葉会」の皆様と1、2年生との交流は今後再開できる時期を考えてまいります。他にも、学校行事の際に保護者家庭の未就学児を見ていただいている「おもちゃばこ」の皆様、校外学習における児童の見守り等、改めまして、藤塚小学校は地域の皆様からさまざまなご支援をいただきながら教育活動を行うことができていることを心より感謝申し上げます。今年度、地域の皆様から学校運営についてご意見をいただく学校運営協議会を発足しました。これからも地域と共に歩む学校づくりに邁進してまいります。